令和５年の出水に対する治水事業の効果

資料１

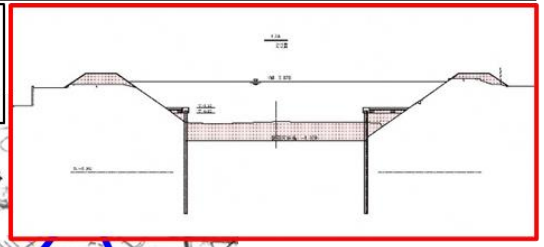
【紀の川水系和田川】台風２号及びそれに伴う前線の活発化による大雨による治水事業の効果　速報版

- ■ 和田川（和歌山県）では、H24出水において、内水氾濫により床上35戸、床下81戸の家屋浸水被害が発生
- ■ 出水を踏まえ、床上事業（H29完）や5カ年加速化対策等を活用して、緊急的かつ集中的に河道掘削等の治水対策を推進
- ■ 今次出水（６月２日）では、H24出水を上回る規模の雨量を記録したが、治水対策による水位低下により、家屋浸水を解消

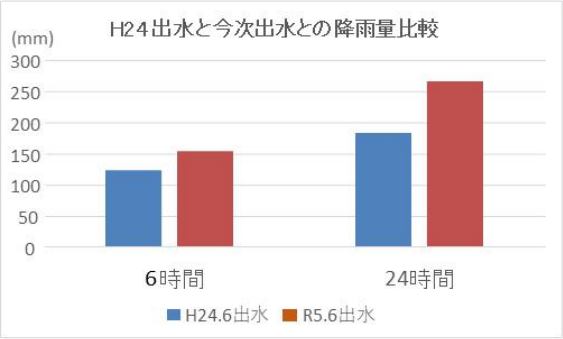
和歌山県全体図

これまでの治水対策

和田川床上浸水対策特別緊急事業（H25～H29）
防災・安全交付金（広域河川改修事業）（H30～継続実施）
3か年緊急対策（H30～R2）
5か年加速化対策（R2～継続実施）



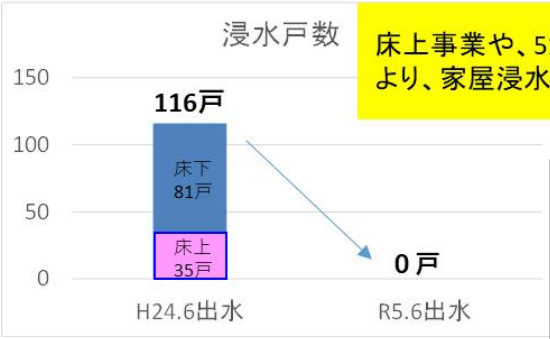
台風2号における降雨量と過去との比較



浸水戸数116戸の被害が生じたH24出水規模以上の降雨を観測。

※岡崎雨量観測所での観測値

治水効果（平成24年出水時の浸水範囲、戸数が解消）



床上事業や、5カ年加速化対策等により、家屋浸水を解消

令和5年6月9日
災害策特別委員会　資料1
自由民主党　足立　敏之
出典：国土交通省「令和5年6月 台風第2号に伴う大雨による近畿地方の河川の概要」を基に足立敏之事務所作成

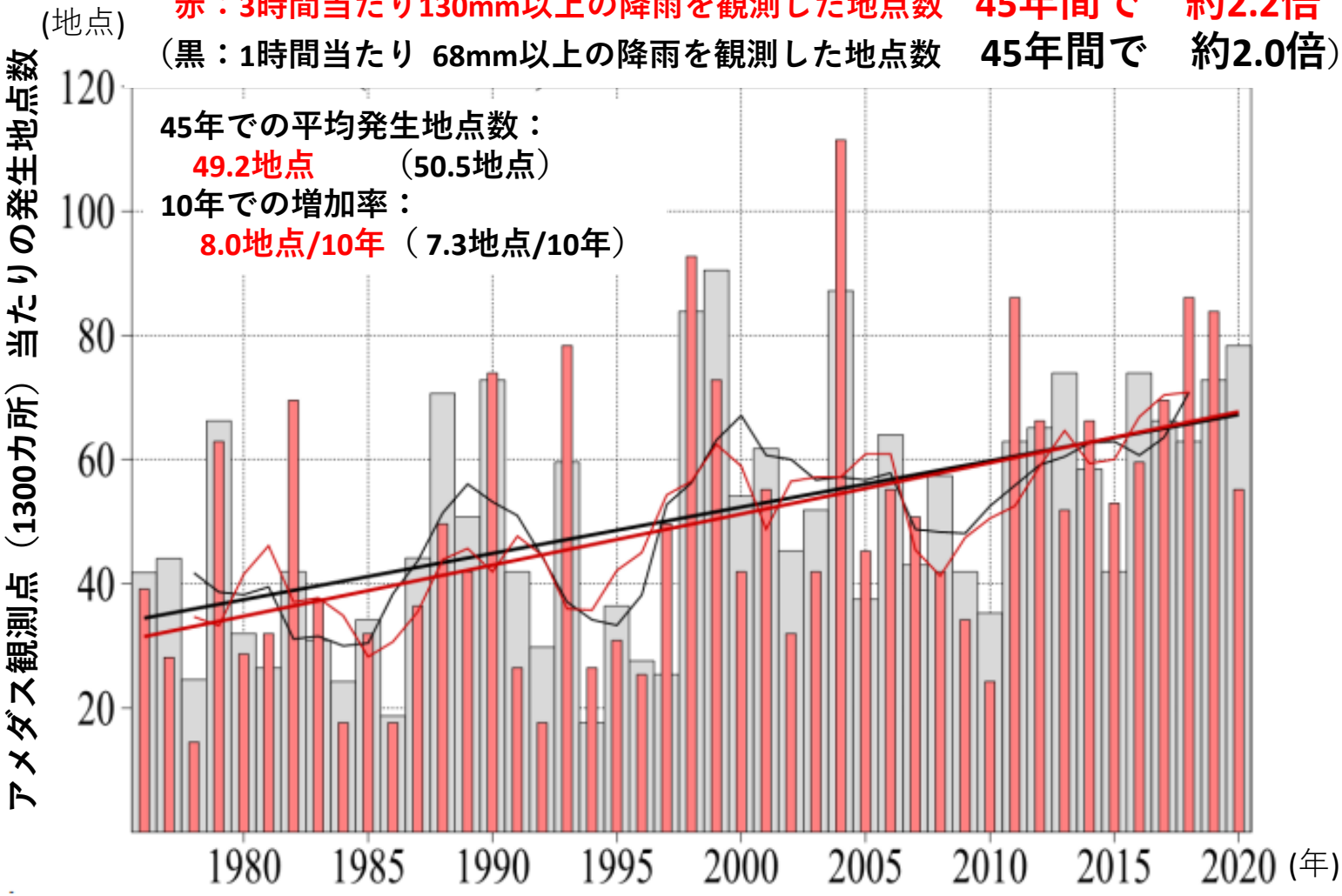
※本資料の数値は、速報値であるため、今後の調査で変わる可能性があります

資料2

地球温暖化の影響
（集中豪雨の増加）

赤：3時間当たり130mm以上の降雨を観測した地点数　45年間で　約2.2倍

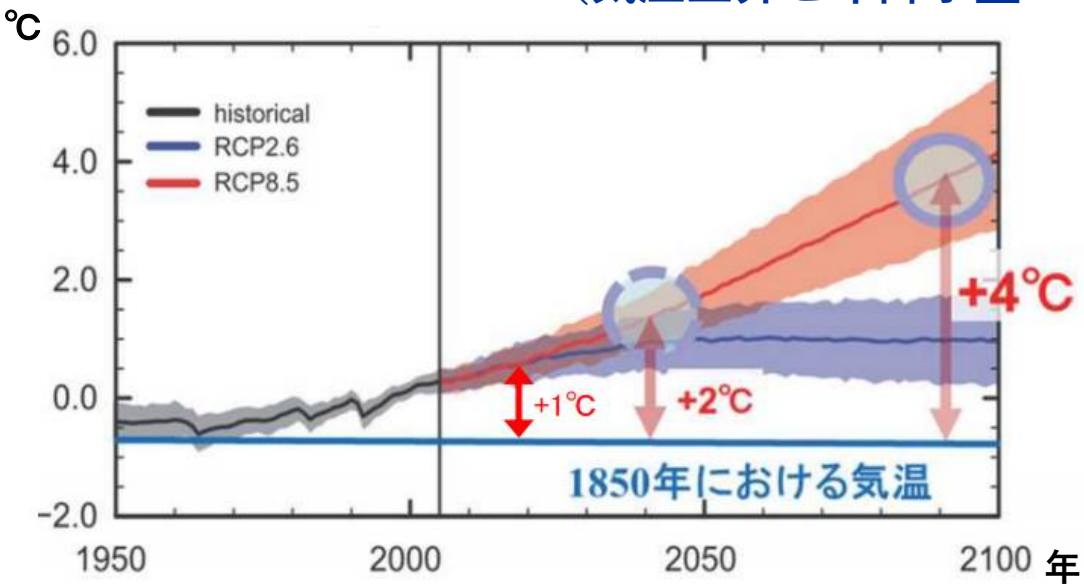
（黒：1時間当たり 68mm以上の降雨を観測した地点数　45年間で　約2.0倍）



令和5年6月9日　災害対策特別委員会　資料2
自由民主党　足立　敏之
出典：気象庁気象研究所令和4年5月20日報道発表資料「集中豪雨の発生頻度がこの45年間で増加している～特に梅雨期で増加傾向が顕著～」資料を基に足立敏之事務所作成

資料3

地球温暖化の影響
（気温上昇と年降水量の増加）



【IPCCによる将来の気温上昇】
・いずれのシナリオでも、2040～2050年頃には産業革命以前と比べて気温は2℃程度上昇
・既に、気温は1℃程度上昇

＜地域区分毎の降雨量変化倍率＞

地域区分	2℃上昇（暫定値）	4℃上昇	
			短時間
北海道北部、北海道南部、九州北西部	1.15	1.4	1.5
その他12地域	1.1	1.2	1.3
全国平均	1.1	1.3	1.4

※ 4℃上昇の降雨量変化倍率のうち、短時間とは、降雨継続時間が3時間以上12時間未満のこと
※ 下水道の雨水計画に反映する降雨量変化倍率は別途検討。

平均気温が2℃及び4℃上昇した場合の降雨量増加率の予測

令和5年6月9日　参議院災害対策特別委員会　資料3
自由民主党　足立敏之
出典：国土交通省 社会資本整備審議会 河川分科会 気候変動を踏まえた水災害対策検討小委員会資料「【参考資料】気候変動を踏まえた水災害対策のあり方について　答申」を基に足立敏之事務所で編集

資料4

太田川水系の河川整備計画の見直し

太田川上流 ダム検討

国交省、災害激甚化対策

国土交通省は31日、広島市などを流れる太田川の上流に治水用ダムの建設を検討していることを明らかにした。2018年7月の西日本豪雨など激甚化する災害への対策を強化する狙いだ。

この日、広島市内であった学識者らを招いた会議で、国交省太田川河川事務所が説明した。洪水時のみ水をためる「流水型ダム」を安芸太田町に建設することを仮定している。

国交省は河川整備計画で、豪雨時に広島市安佐北区の玖村地区の太田川で毎秒1万200トンの水を流せることを目標としている。だが、現時点では700トン不足しており、具体的な対策が課題となっていた。

国交省は、新規にダムを建設して既設のダムも活用する案と、河道掘削などを行う別の二つの案と比較。新規にダムを建設する案がコスト面などから「妥当」とした。建設費用は、既存ダムの活用にかかる分を含め約1700億円に上るという。（岡田将平）

国土交通省の資料から

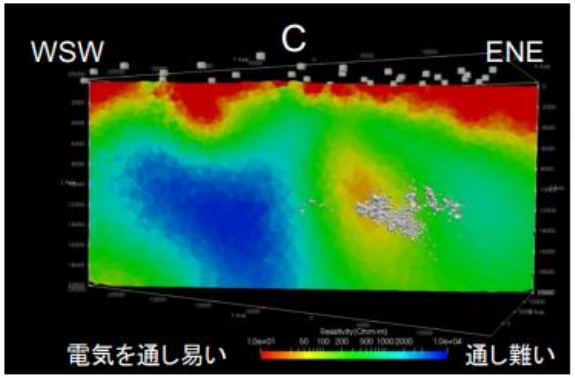
令和5年6月9日　災害対策特別委員会　資料4
自由民主党　足立　敏之
出典：令和5年6月1日（木）　朝日新聞　朝刊　広島版　17面

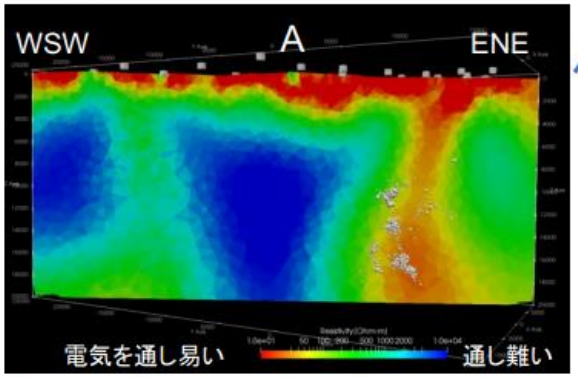
資料5

能登半島を震源とする地震と地下構造

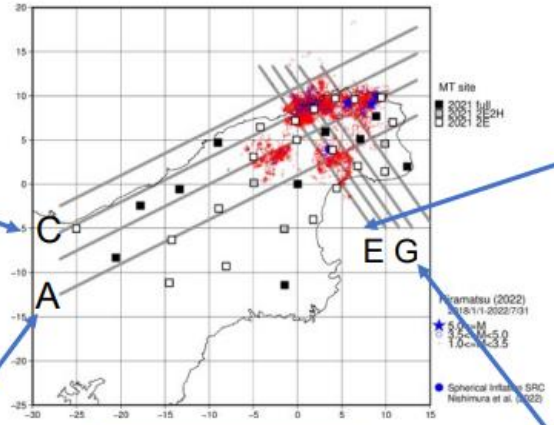
2021年度の観測から得られた地下構造

鉛直断面：西南西－東北東

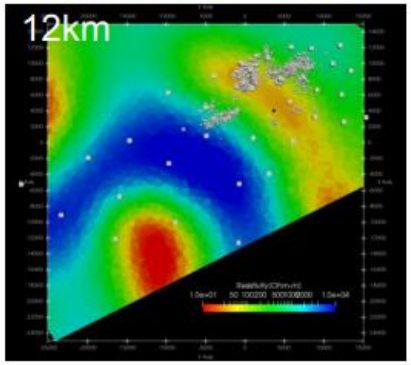




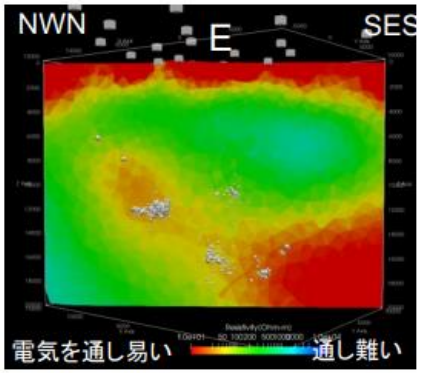
京都大学・金沢大学・兵庫県立大学・海洋研究開発機構

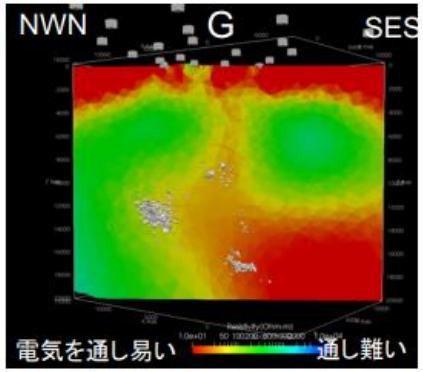


水平断面：12km深



鉛直断面：北北西－南南東





吉村他(2022, SGEPSS)

令和5年6月9日　災害対策特別委員会　資料5
自由民主党　足立　敏之
出典：「令和5年4月11日 地震調査研究推進本部 第384回地震調査委員会資料」を基に足立敏之事務所作成

資料6

令和5年5月5日　能登半島を震源とする地震被害
（石川県珠洲市　5月9日撮影）

局所的な住宅被害の発生

正院町地区

宝立町鵜飼地区

住宅に隣接した民地斜面の崩壊

正院町地区

正院町地区

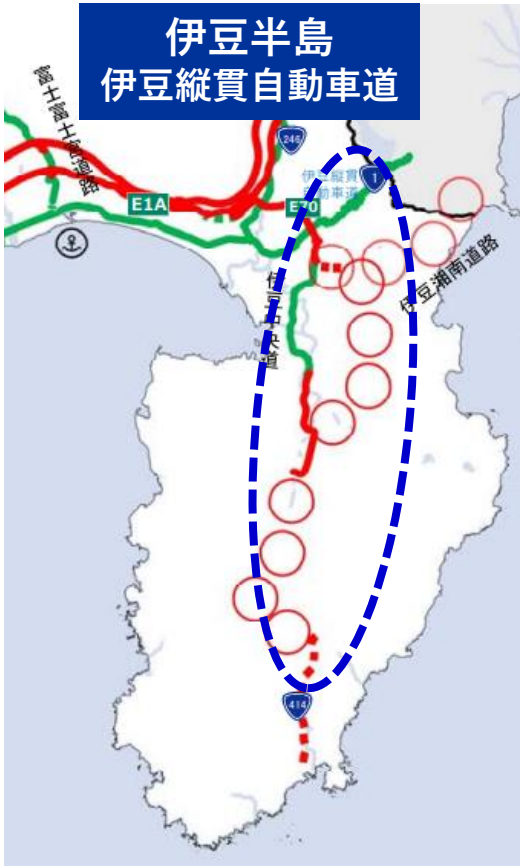
令和5年6月9日　災害対策特別委員会　資料6
自由民主党　足立　敏之　出典：令和5年5月9日足立敏之事務所撮影

資料7

半島部等での災害に強い道路の必要性

能登半島
珠洲道路

伊豆半島
伊豆縦貫自動車道



下北半島
縦貫道路・
風間浦バイパス

海沿いの国道での落石

(珠洲市・国道249号)

令和5年6月9日　災害対策特別委員会　資料7
自由民主党　足立　敏之
出典：図…左上「石川県新広域道路交通ビジョン・新広域道路交通計画」
中上「静岡県新広域道路交通計画
広域道路ネットワーク計画」
右上：国土交通省「東北地方新広域道路交通計画」
を基に足立敏之事務所作成
写真…左下：令和5年5月9日
足立敏之事務所撮影
右下：令和3年9月16日
足立敏之事務所撮影

損壊した橋梁の仮橋による応急復旧

(むつ市・国道279号)

資料8

珠洲市における災害廃棄物処理

令和5年5月5日地震発生後の迅速な災害廃棄物受け入れ

5月9日：珠洲市 市営野球場駐車場

5月19日～：隣接地に移転・拡大

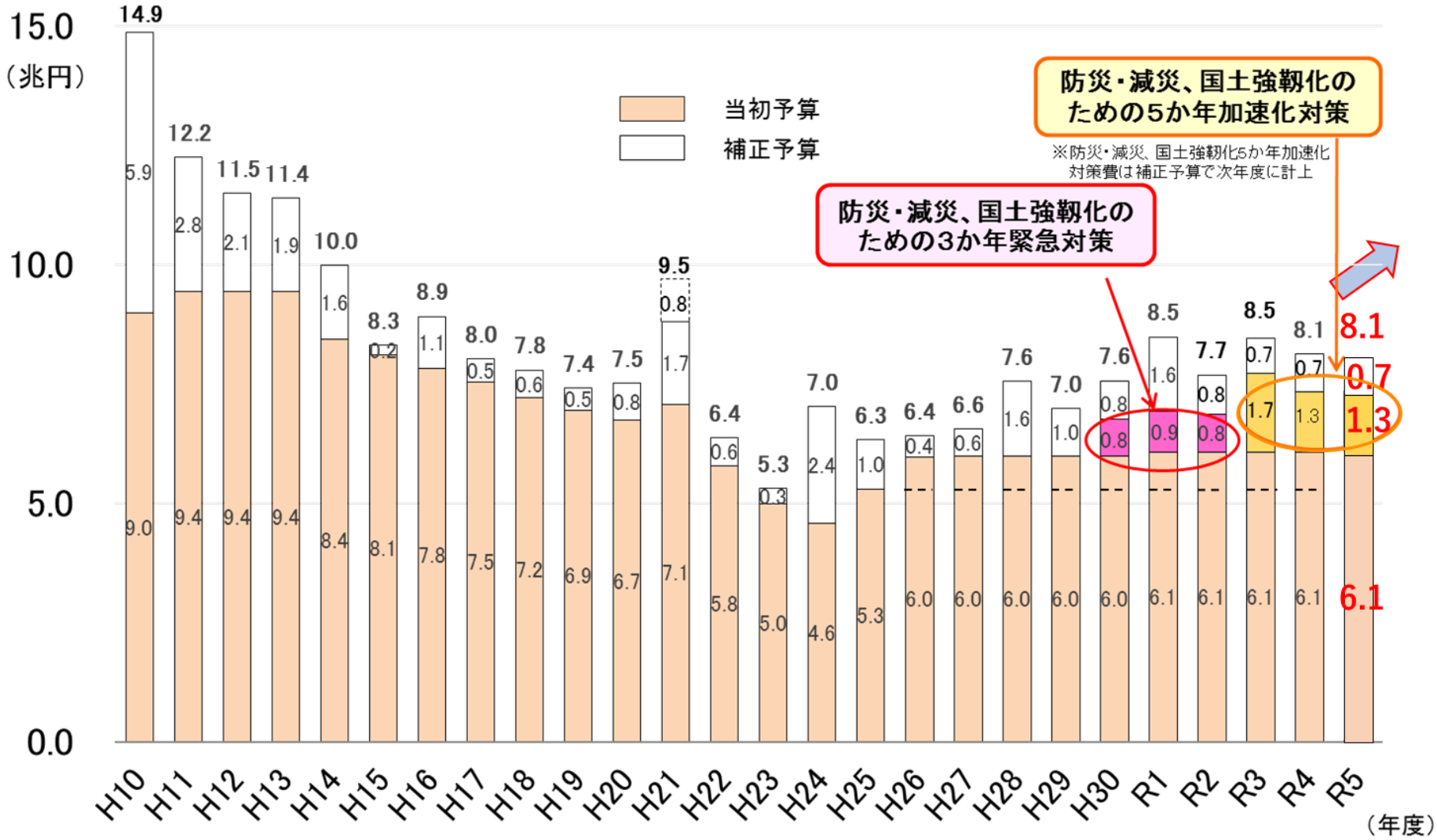
先行事例：令和4年8月の豪雨災害発生後の迅速な災害廃棄物受け入れ

小松ドーム駐車場・小松市林町

令和5年6月9日　災害対策特別委員会　資料8
自由民主党　足立　敏之
出典：写真左上…令和5年5月9日足立敏之事務所撮影
右上…令和4年8月9日足立敏之事務所撮影
図…珠洲市HP「災害で発生したごみの出し方について」を基に足立敏之事務所作成

資料9

国の公共事業予算の推移



令和5年6月9日　災害対策特別委員会　資料9
自由民主党　足立　敏之
出典：財務省資料「令和5年度政府予算案令和5年度国土交通省・公共事業関係予算のポイント」を元に足立敏之事務所作成